

Catch up **滋賀医大** : **滋賀医大ニュースレター**
第11号

著者	滋賀医科大学
発行年	2010-07-01
URL	http://hdl.handle.net/10422/9103

Catch Up 滋賀医大

2010.07.01 平成 22 年 第 11 号



「地域イノベーションクラスタープログラム」に採択

H22.06.23

文部科学省が実施する平成 22 年度「地域イノベーションクラスタープログラム(重点支援枠)」「グローバル型」に、本学を含む滋賀県(びわこ南部地域)の「医工連携ものづくりクラスター」形成に向けた提案が採択されました。

「地域イノベーションクラスタープログラム(重点支援枠)」は、これまでクラスター形成に向けた取組実績の

ある地域に対して重点的支援を実施し、地域の活性化のための核として、地域が自立して持続的に発展できるクラスターを形成することを目的としています。

その中でも【グローバル型】では、国際的に強みや特徴を持つ技術シーズを核に国際競争力を持ったクラスター形成を目指します。

地域医療再生計画にかかる寄附講座の設置協定締結

H22.06.18



東近江市役所での
協定書調印式の様子

平成 22 年 6 月 18 日(金) 東近江市役所にて、馬場忠雄 学長、嘉田由紀子 滋賀県知事、井上修平 国立病院機構滋賀病院長(矢崎義雄 国立病院機構理事長の代理)、西澤久夫 東近江市長の出席のもと、「寄附講座の設置に関する協定書」の調印式が行われました。

これにより、本学は、滋賀県からの要請を受け、寄附講座「総合内科学講座」及び「総合外科学講座」を設置します。

両講座とも、地域医療の再生及び地域医療の組織的確立を目的とし、地

域医療を担う医師への教育、また、地域医療を担う医師の養成・確保に関する研究等を行います。

当面、その拠点として国立病院機構滋賀病院内に設置しますが、将来は、東近江の公立 3 病院(国立病院機構滋賀病院、東近江市立能登川病院、東近江市立蒲生病院)の再編にともない、国立病院機構滋賀病院内に「東近江総合医療センター(仮称)」を設置し、本学はこれを拠点として、地域医療の再生に向けた教育・研究・診療活動を推進していく予定です。

看護スキルズラボ オープニングセレモニー開催

H22.06.08

昨年12月に設置された「看護臨床教育センター」内に「看護スキルズラボ」を開設し、6月8日(火)午前9時より、オープニングセレモニーを開催しました。

「看護スキルズラボ」とは、人体模型4体と実践的な看護トレーニングができる機器を備えた技術訓練室です。

現役看護師のキャリアアップ・看護の質の向上のための訓練や技術習得のために活用するほか、本学看護学科学生の実習等にも用いる予定です。

オープニングセレモニーには、馬場学長、柏木病院長、藤野看護部長、澤井センター長をはじめ、看護師や看護学科教員等約30名の出席があり、病院長及び学長のあいさつに続き、華々しくテープカットが行われました。

挨拶のなかで、馬場学長は「広いスペースではありませんが、ここを活用し看護実践能力を向上させ、小さな場所から大きく巣立ってもらえることを期待しています」と述べました。



最高齢の腹部大動脈瘤破裂・急性胆嚢炎合併手術成功

H22.04.30



手術を担当した
鈴木講師と木下助教



インタビューを受ける
患者さん

4月30日(木)15:00より本学において、「腹部大動脈瘤破裂・急性胆嚢炎合併の日本最高齢手術成功」について記者発表を行いました。

【発表の主な内容】

- ・3月12日(金)、腹部大動脈瘤破裂の98歳男性患者さんが、本院心臓血管外科に運ばれました。一刻を争う状態で、救急車から直接手術室に搬送し、すぐに麻酔を導入、腹部大動脈人工血管置換手術を行いました。
- ・手術の際、胆嚢周辺から膿が混ざったような浸出液の流出が認められ、消化器外科の医師が診察を行い、急性壊疽性胆嚢炎であることが判明しました。そこで、引き続き、消化器外科医により緊急胆嚢提出術を行いました。
- ・98歳での腹部大動脈瘤破裂の救命例は日本で2番目の高齢であり(最高齢は99歳)、男性での救命

例では日本最高齢です。

また、腹部瘤破裂と急性胆嚢炎の合併の救命例としては日本最高齢の記録です。

手術を執刀した心臓血管外科の鈴木友彰講師は、「本院では、昨年7月頃から緊急を要する心大血管緊急救命手術について、各部署と連携し、救急車から直接手術室へ搬送するシステムを導入し、到着から手術までの時間を従来より約50分短縮できるようになりました。これは大学病院としては、稀な取組であり、これらの成果が今回の救命手術成功につながったのではと考えます。」と述べました。

また、「高齢だからというだけで手術をあきらめてしまう方がおられるが、年齢だけを理由に手術をあきらめないでほしい。このケースを通じてそれを伝えたい。」と語りました。

平成 22 年度 滋賀医科大学入学式が挙行され、 新入生 215 名を迎え入れました

H22.04.06

平成22年度入学式を4月6日(火)に本学体育館で挙行し、医学科学生98名、看護学科学生70名、大学院生(博士課程)34名、大学院生(修士課程)13名の新入生を迎え入れました。

はじめに、馬場学長から告辞があり、「大学生は高校生とは異なり、自律性をもって行動することが求められます。自分自身で何が課題であるかを探し出し、解決する方法を自ら

が見つけ出す能力を身につけること、また人と人との接点となるコミュニケーション能力を伸ばすように努めて下さい。」と激励されました。

また、入学生代表より、「勉学に励むことはもちろん、同じ医療従事者を志す仲間と切磋琢磨し、医療現場で必要とされる実践力や判断力を身につけていきながら、自分の夢に向かって頑張っていきたいです。」と力強い宣誓が行われました。



215 名の新入生を迎えました

平成 22 年度 新入生宿泊研修を実施

H22.04.08~09



4月8・9日の両日、近江八幡休暇村等において、平成22年度の新入生宿泊研修を実施しました。研修には、医学科、看護学科の新入生及び引率教職員総勢約190名が参加しました。

初日は、近江八幡休暇村での飯ごう炊さんに始まり、班別懇談会や人権学習などを実施、2日目は、本学教員や弁護士の先生による講演の後、陶芸体験を実施するなど、中身の濃い2日間となりました。

不要となった机やイスなどを活用し多目的ラウンジ開設

H22.04.12

学生生活等の環境整備として、本学の医療人育成教育研究センター学生生活支援部門の企画により、福利棟2階に多目的ラウンジ「もったいないラウンジ(仮称)」を開設しました。

資源の有効利用をコンセプトとし、不要となった教室机やイスなどを再利用しました。また、机やイスの保管も

兼ねており、学園祭のときなどは活用できるようになっています。

ラウンジの設置目的は、「昼食時の食堂の混雑緩和」「学生のフリースペース」が主な目的ですが、多目的に利用できるスペースとなっており、給茶器・電子レンジ・湯沸かしケトルを設置したほか、清涼飲料の自販機も近日設置されます。



ラウンジで談笑する学生

平成 22 年度新入生歓迎会を開催

H22.04.20



たくさんの参加者で会場は
いっぱいになりました

4月20日(火)に本学福利棟食堂において、平成22年度の医学科、看護学科の新入生を迎え、新入生歓迎実行委員会主催の新入生歓迎レセプションが行われました。

多くの新入生の参加のもと、委員長の医学科2年 村頭君の司会で歓迎会が進行され、ビンゴゲームでは賞品をもらった新入生が自己紹介と記

念撮影を行い、大いに盛り上がりました。

この歓迎会の開催で新入生のクラブ勧誘期間は終了となり、翌日からは文化会の軽音楽部、管弦楽団、アカペラサークルなどによる新入生歓迎ミニコンサートがクリエイティブモチベーションセンターなどで行われます。

立命館大学との大学間研究交流会を開催

H22.05.07

5月7日(金)、本学にて「立命館大学 滋賀医科大学 第1回大学間研究交流会」を開催しました。この研究交流会は、両大学の相互の研究状況を知り、双方の強みを活かすとともに補完を行い、共同研究と相互の研究を促進し大学間の研究連携に繋げようという趣旨で企画されたものです。

立命館大学は近年、生命科学部・薬学部・スポーツ健康科学部とライフ・サイエンス関連の学部の新設が続き、本学との連携の更なる発展

が期待されます。

第1回目の今回は、馬場学長の挨拶、谷 学長補佐の趣旨説明に引き続き、立命館大学よりライフ・サイエンスに関わるテーマの研究発表3件及び研究者の紹介がありました。本学からも、分子神経科学研究センターの遠山教授と高次調節系専攻の安藤教授が研究発表を行いました。

今後、研究交流会をさらに推進するために、定期的に分野、テーマを選んで開催する予定です。



谷 学長補佐による
趣旨説明

附属病院で「看護の日」イベントを開催

H22.05.12



AED 使用方法説明の様子

5月12日は、近代的看護を確立したナイチンゲールの誕生日にちなんで「看護の日」です。本学附属病院でも、これにあわせ、看護の日イベントを開催しました。

午前中には、附属病院ロビーにて、血圧測定、骨密度測定、血管年齢測定などの健康チェック及びAEDの使用法説明を実施しました。大変多くの方に参加いただき、順番待ちの列ができるほどでした。

午後からは、「瀬田東ハーモニカクラブ」の皆さんによるコンサートが開かれ、全10曲が演奏されました。入院患者さんをはじめ、たくさんの方々が来場され、澄んだ音色で奏でられる懐かしい曲にあわせ、一緒に口ずさみながらコンサートを楽しんでおられました。

締めくくりには、「瀬田東ハーモニカクラブ」の皆さんがもっとも得意な「瀬戸の花嫁」「琵琶湖周航の歌」が演奏され、この日一番の歌声と拍手が会場に響きました。

第35回浜松医科大学との交流会の壮行会を実施

H22.05.14

5月14日(金)に第35回浜松医科大学との交流会への出発前に中庭で壮行会を実施しました。本交流会は、学生・大学間の交流を深めるための貴重な機会として、例年5月上旬に相互の大学を会場に実施しています。

浜松医科大学の主催時には、本学参加学生の志気を高めるため、出発前に壮行会を実施しており、馬場学長から学生へエールが送られました。引き続き、田中体育会長のあいさつがあり、参加学生はバスに乗り込み出発しました。



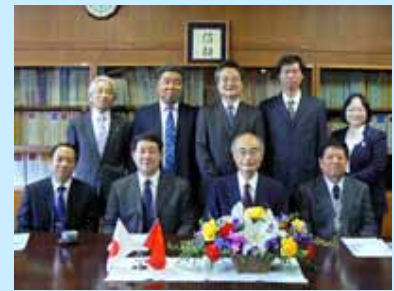
体育会長の奮起のかけ声

中国のハルピン医科大学より楊学長らが来学

H22.05.13~15

5月13日(木)~15日(土)、中国のハルピン医科大学 楊学長ら5名の方々を本学にお迎えしました。本学とハルピン医科大学は2001年より国際交流協定を締結し、留学生の受入や海外自主研修などにより交流を図ってきました。

今回は、本学のMR医学総合研究センター、分子神経科学研究センター、附属病院を見学いただくとともに、信楽の美術館や陶芸の森にご案内しました。種々の交流を通じて親睦と友好をさらに深めることができた貴重な機会となりました。



記念撮影の様子

第35回浜松医科大学との交流会を実施

H22.05.14~15



大学対抗で各クラブが熱戦を展開しました

5月14日(金)・15日(土)の2日間、浜松医科大学にて第35回浜松医科大学との交流会が開催されました。本交流会は、学生・大学間の交流を深めることを目的に、例年相互の大学を会場に実施しています。

今年は、馬場学長、服部副学長以下引率の教職員及び学生約300名が浜松医科大学に赴きました。両日と

も透き通るような快晴に恵まれ、グラウンド、体育館、武道館などで各クラブが熱戦を繰り広げました。

対戦成績は9勝4敗で、昨年に続いて本学が見事勝利し、優勝杯を持ち帰ることができました。これで、通算成績は本学の17勝13敗5引き分けとなりました。

園芸部が新しくできたログハウスで活動を開始

H22.05.23

平成 22 年 3 月に、生物学教室の新しい研究室としてログハウスが完成し、この度、その一部を活用し、園芸部が畑作業を開始しました。

園芸部は昨年結成された学生クラブ

で、部員もまだまだ少ないのですが、日々奮闘しており、今回、ログハウス敷地の一部を綺麗に耕し、夏野菜のトマト・キュウリ・ナスなどを植えました。今後は、畑を広げたり、花壇を作ったりする予定とのことです。



園芸部のみなさん

がん患者サロン「ゆらり」開設記念講演会を開催

H22.05.24



講演会の様子

滋賀医科大学医学部附属病院では、がん患者サロン「ゆらり」を開設。これを記念して、5月24日(金)に、がん患者サロン「ゆらり」開設記念講演会を開催しました。

講演会は、滋賀県がん患者団体連絡協議会 北川先生の「がんとともに生きる」と題した講演にはじまり、本院のがん看護専門看護師 服部さん、医療ソーシャルワーカー岡村さんが「がん相談支援部門」について、臨床看護学講座 遠藤教授が「緩和ケアチーム」についての紹介を行いました。

当日は、患者さんやスタッフなど約50名の参加があり、講演の中で、実

際にごんと闘っておられる患者さんの力強い言葉が紹介されると多くの方が涙を流しておられました。

また、参加された患者さんからは「とても良い講演会でした。このようなサロンが開設されると大変心強く思います。」との感想をいただくことができました。

がん患者サロン「ゆらり」は、がん患者さん及びご家族同士が集まって、お互いの心の内を語り合い、励まし合い、様々な情報交換をすることで、がんとともに生きる気持ちをよりよい方向へ高めていくことを目的としています。是非、気軽にご参加下さい。

がん患者サロン「ゆらり」について

開催日時	毎月第4金曜日 13:30～15:30
場所	附属病院3F 看護部応接室
対象	がん患者さんご本人、そのご家族(本院に通院されていない方も大歓迎です)
参加方法	手続きは必要ありません。気軽にお立ち寄り下さい。

A-STEP(研究成果最適展開支援事業)公募説明会を開催

H22.05.26



説明会の様子

5月26日(水)に、独立行政法人科学技術振興機構(JST)から講師をお招きし、A-STEPに係る公募説明会を開催しました。

A-STEPは、大学などで生まれた研究成果を基にした実用化を目指すための研究開発フェーズを対象とした技術移転事業です。

今回の説明会は、A-STEPの「フィジビリティスタディ・ステージ(FS)」の

“シーズ顕在化タイプ”、“起業検証タイプ”、“探索タイプ”について実施し、JSTイノベーション事業本部技術移転プランナーの植松宏彰氏から「公募要領の注意点」、また、JSTイノベーションサテライト滋賀技術参事の江田和生氏から「応募に当たってのポイント」等の説明を頂きました。

説明会には、学内外の研究者約20名の参加があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

第33回解剖体納骨慰霊法要を執り行いました

H22.05.29

5月29日(土)午前10時30分から比叡山延暦寺阿弥陀堂において、ご遺族、ご来賓、しゃくなげ会会員および学生、教職員の約400名が参列し第33回解剖体納骨慰霊法要が厳粛に執り行われ、故人のご冥福をお祈りしました。

今回お祀りした41名の御霊及びご遺族に対し、馬場学長より感謝の意が述べられるとともに、学生に対し、「医学教育のために自らの身体を捧げて下さった御霊のことをいつまでも忘れることなく、信頼される医師や人々の幸せに貢献する医学研究者として“一隅を照らす人”に育ってくださることを期待しております。」と述べられました。

続いて、学生代表 住尾健太郎君が、ご献体して下さった方々をはじめ、多くのひとたちにさまざまな形で力を貸していただいている。そのことを肝に銘じ、思いにきちんと応える医師となり責任を全うすることをご霊前に誓いました。

法要終了後、引き続き文部科学大臣の感謝状がご遺族代表に贈呈されるとともに、学生の手でご遺骨が返還されました。

また、午後からは比叡山横川の大学霊安墓地において、ご遺族、ご来賓、学生等の参列の下に、納骨式が執り行われ、分骨いただいたご遺骨が納骨堂に安置されました。



歯科口腔外科、リハビリテーション部などの改修工事完了

H22.05.29



改修された歯科口腔外科

外来棟1階 歯科口腔外科の改修工事が完了し、5月29日(土)には、2階仮設診療ブースから元の場所への移転を行いました。また、リハビリテーション部(科)、治験管理センター(ゲノム面談室)の改修工事も完了し、5月30日(日)に、それぞれ生まれ変わった真新しいスペースに移転しました。

6月からは、外来棟2階 整形外科の改修工が始まります。それにとともに、整形外科が2階仮設診療ブース(中央エレベーターホール西側)へ仮移転しました。

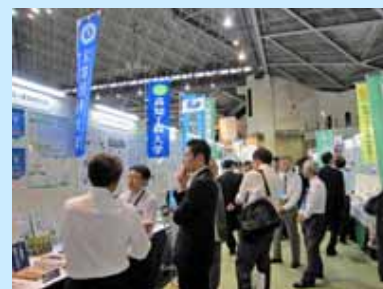
整形外科は8月28日まで仮設診療ブースでの診療となります。仮設診療ブースはスペースが狭く、何かとご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

「科学・技術フェスタ in 京都 平成 22 年度産学官連携推進会議」に出展

H22.06.05

6月5日(土)に国立京都国際会館にて「科学・技術フェスタ in 京都 平成 22 年度産学官連携推進会議」が行われました。これは、内閣府、総務省、文部科学省等の8府省等が、科学・技術の重要性や産学官連携の成果を一般に公開しようと企画し開催したものです。

本学からは、遠山教授が「ケト・エノール互変異性を利用したアルツハイマー病の新規診断薬」について、また、「都市エリア事業(発展型)H19-H21『びわこ南部エリア』における研究」の成果として、谷教授が「オンサイト診療システムの特徴」について、石田准教授が「分子間相互作用解析装置の開発」について、パネル展示を行い来場者の注目を集めました。



出展ブース

生協食堂にてアカペラサークル「jingle-jangle」のライブが行われました

H22.06.08



6月8日(火)の18時半から生協食堂にて、アカペラサークル「jingle-jangle」の新人ライブが開催されました。この新人ライブは、今年アカペラサークルに入部した新入生を歓迎する目的で行うライブで、1回生にとっては初めて人前でアカペラを歌う機会となります。

今年は、例年以上にたくさんの新入生がライブに参加し、また多くの観客が集まり、とても盛り上がった楽しいライブとなりました。新入生にとっても、とても有意義な時間となりました。

アカペラサークルでは、今後も、学内のライブのみならず多くの学外活動も行い、アカペラを通して様々な人々と交流を図っていくとのことです。

「科学技術講演会・育成研究成果報告会」にて研究成果を発表

H22.06.14

6月14日(月)に、大津市のコラボしが21にて、JSTイノベーションサテライト滋賀主催の「科学技術講演会・育成研究成果報告会」が開催されました。

科学技術講演会では、(財)滋賀県産業支援プラザの中村理事の挨拶の後、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の石田統括研究員より「スマートグリッドの最新動向」と題して現状の取り組み等についての講演が行われました。

また、育成研究成果報告会では、平成18年度に採択され、平成21年度末で終了となったJSTイノベーションサテライト滋賀主管の産学官連携開発支援プログラムの一つである「育成研究」の4課題について、それぞれの報告が行われました。

本学からは、分子神経科学研究センターの遠山教授が「アルツハイマー病の新規 MR 画像診断薬の開発」と題した研究成果の発表を行いました。



発表を行う遠山教授

附属病院 D 病棟 6階に屋上庭園をオープン

H22.06.15



ツツジやアジサイなどが
植えられています

平成 22 年 6 月 15 日(火)より、患者さんやお見舞に来られた方々などの憩いの場として D 病棟 6 階に屋上庭園をオープンしました。

D 病棟 6 階レストラン「フォレスタ」横の屋上スペースを緑化し、パラソル・

テーブル・椅子・ベンチ等を用意しました。

ご利用時間は、午前 8 時～午後 5 時までです(雨天及び強風の日の除く)。季節の花や芝生に囲まれた心地よい空間となっています。是非、気軽にご利用下さい。

第 52 回滋賀医科大学管弦楽団定期演奏会を実施

H22.06.19

6 月 19 日(土)18:00 より、栗東芸術文化会館さくら大ホールにて、本学卒業生 岩井一也(音楽監督)氏の指揮により、第 52 回滋賀医科大学管弦楽団定期演奏会が実施されました。

演奏会では、ドヴォルザーク/交響曲第 8 番ト長調、ロッシェニ/歌劇

「どろぼうかささぎ」序曲、ニコライ/喜歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲が演奏されました。当日は、満員に近い来場があり、大盛況の中で行われました。また、開演前にはロビーにてミニコンサートも行われました。



演奏終了後の花束の贈呈

夏期課外活動等における熱中症(事故)対策講習会を実施

H22.06.25



江口教授による
A E D の使用説明

6 月 25 日(金)、臨床講義棟臨床講義室 1 において、江口 豊 救急集中治療医学講座教授を講師に学生を対象として「夏期課外活動等における熱中症(事故)対策講習会」を行いました。

本学では、例年、課外活動団体の練習等が最盛期となるこの時期に、夏期の課外活動等における熱中症の

予防、対策についての講習会を実施しています。

出席した 73 名の学生は、クラブ活動時のみならず、日常生活においても熱中症にかからないために、また遭遇した場合の対処方法を真剣に学んでいました。また、今回は、自動対外式除細動器 A E D による一時救命処置の手順の講習もあわせて行われました。

平成 22 年 7 月 ~ 9 月の行事予定

7 月 25 日 公開講座「小児アレルギー-夏期ゼミナール」

7 月 29 日 医学科オープンキャンパス

8 月 4 日 看護学科オープンキャンパス

大学概要



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

所在地：

〒520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：

1974年10月1日

活動内容：

教育・研究・診療

役員：

学長 馬場忠雄

理事（教育等） 服部隆則

理事（医療等） 柏木厚典

理事（経営等） 村山典久

理事（総務等） 谷川成美



担当

企画調整室

TEL:

077-548-2012

FAX:

077-543-8659

本学 Web サイト URL:

<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:

hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学 (平成 22 年 4 月～平成 22 年 6 月)

教育関係

2010/04/28	中日	滋賀病院に中核病院建設.
2010/04/08	読売	「環びわ湖コンソーシアム」設立

研究関係

2010/06/25	朝日	文科省が支援 年 1 億数千万円補助
2010/06/12	朝日	ひと交差点 よい眠りで日本元気に
2010/06/05	日経プラス 1	親から注意されること、「もう寝なさい!」最多
2010/05/22	京都	眠りの効能知って活用.
2010/05/18	毎日	介護リフトで腰痛予防
2010/05/12	京都	研究、国際交流 23 件に助成へ
2010/05/12	産経	睡眠障害がメタボを悪化
2010/04/29	朝日	「生活習慣病の改善による心筋梗塞、脳梗塞の予防」.
2010/04/23	読売	石綿との「接点」執念の解明.
2010/04/15	読売	学び暮らし 成分表で摂取量チェック
2010/04/10	読売	「脳に効く[睡眠学]」 宮崎聡一郎著

病院関係

2010/06/25	読売	滋賀医大の分校開設協定「東近江センター」
2010/06/22	各紙(4紙)	東近江 3 病院再編 ゆらく「地域医療」の現場
2010/06/20	産経	女性泌尿器外来 開設へ
2010/06/19	京都	寄附講座開設へ滋賀医大と協定.
2010/06/10	中日	滋賀医科大学の寄附講座設置 18 日 協定書調印式
2010/06/09	中日	精神科も診療科目に
2010/06/06	読売	病院の実力 31 頭頸部がん機能温存
2010/06/03	読売	滋賀医大 遺族と和解
2010/06/03	滋賀報知	滋賀医科大学ががん患者サロン「ゆらり」.
2010/06/02	京都	滋賀医大が 500 万円支払い
2010/05/25	中日	「がん患者サロン」開設 来月、滋賀医科大学病院に
2010/05/24	中日	公立 3 病院 再編 整備計画案に理解を
2010/05/17	京都	東近江市、中核病院に機能集約 地域医療再生の出発点
2010/05/13	京都	12 日「看護の日」日常の活動 PR
2010/05/13	中日	AED 使用説明も 看護の日 健康見直し行事
2010/05/10	中日	大動脈瘤破裂など一刻を争う患者
2010/05/01	各紙(4紙)	滋賀医大 98 歳手術に成功
2010/05/01	読売	病院の実力 回復期リハビリ
2010/05/01	中日	98 歳 同時手術に成功
2010/04/30	各紙(2紙)	東近江市立病院改編案 西沢市長に提言
2010/04/28	各紙(2紙)	滋賀病院を中核病院に
2010/04/26	京都	滋賀医大 助産師外来新設
2010/04/26	京都	滋賀医大病院 「親の会」 中学生に院内学級.
2010/04/14	京都	中核病院概要を討議 東近江市 私立病院整備委員会
2010/04/13	毎日	現場から記者レポート 近江八幡・公立病院再編 「私立」縮小焦点.
2010/04/06	中日	医人伝 納得いく人生、手助け
2010/04/06	中日	医師の負担減、安心に出産

社会連携

2010/06/27	京都	生活習慣病の予防 コツ教える講座
2010/06/24	京都	健康教室 300 回記念睡眠テーマに講演
2010/06/22	読売	知られざるき歯周病の脅威！.
2010/06/08	読売	滋賀医科大学市民公開講座受講生募集
2010/06/04	朝日	市民公開講座「おくすりと緩和医療 - 明日の緩和医療」.
2010/05/21	朝日	がん患者サロン「ゆらり」.開設記念講演会

管理運営

2010/05/28	中日	滋賀大 割増貸金未払い
2010/04/26	朝日	進まぬ契約の効率化 国立の「民間開放度」初公開
2010/04/09	京都	奈良先端大が民間導入首位

その他

2010/06/06	毎日	長い診察 一般医に負担.
2010/04/23	中日	インタビュー 昭和大付属烏山病院 加藤進昌院長
2010/04/13	京都	尼崎 JR 脱線 負傷者ら「忘れられない」.
2010/04/09	産経	「長谷先生は命の恩人」
2010/04/03	京都	滋賀大・佐和新学長が抱負「活力富む大学に」.
2010/04/03	中日	「必要な改革推進」滋賀大学長就任 佐和氏が会見